

枝葉問題よりも
根本問題 (上)

在伯同胞に取つて、何が最も大切であるかと云へば、己の生活安全幸福ならしむる爲めに隣人を慕むこと。社會を強化することである。然るに同胞多數の日々行動する處を見る、それが餘りにも個人的であり、孤立的であつて、自己を益せん爲めに家庭の爲めに貢献しないといふ狀態を露はしつゝあるのは如何にも悲じむべき事である。

尤も我が國の内地では、日本人は服装道徳に鍛錬せられ、英雄崇拜は官吏崇拜の因襲を特徴とするが故に、個人性の發揮が無いのである。然るに同胞多數の日々行動する處を見る、それが餘りにも個人的であり、孤立的であつて、自己を益せん爲めに家庭の爲めに貢献しないといふ狀態を露はしつゝあるのは如何にも悲じむべき事である。

三

何千年さいふ長い間、個人経済を知らなかつた日本民族は、徳川の鎖港機械のめぐら醒め、歐米の個人主義を交りな結ぶや、彼等の文制度を採り容れる共に個人主義を吸收し、今は、其の反動が燃へ上つてゐるに反し、在伯の同胞は個人主義の分家たるの公序良俗が確立しないなら、結局は個人性から来る利益、本位は漠然と得ないのである。

四

去月二十五、六の兩日總領事館の下に、聖市に協作と金融に関する懇談會があつたが、其の会合に於ても主催側が在留民の落付に對し、研究をして見やうとする者へが缺けてゐながら、それ等に就ての意見交換は極めて少なく、骨肉相親み、隣人相助けるの公序良俗が確立しないなら、結局は個人性から来る利益、本位は漠然と得ないのである。

五

最近ペイア州統一黨では黨の強化運動を起し、各黨員が最少量一名の新黨員を説教加入せしめる事に決し、比較的當局の目の届かない奥地方面に於て同黨主張宣傳につき、近々共産的革命運動が起きるからその時赤化主義者に妻子財産等を略奪され、金銭は如何いふ授配が必要がある若し入黨しない者は本連絡後銃殺に處する等を殆ど恐喝的言辭を以て良民を脅かすた點で終始したのは何んとなく足りぬ心地がしたのだ。

勿論、補作と金融に就てのけん究は當面の緊急事項として何うすれば効果的かと協議して見る所宜いも無誤の結果が相當収穫が有つたのではあらうが、然し根本問題の感が、然るに同胞多數の日々行動する處を見る、それが餘りにも個人的であり、孤立的であつて、自己を益せん爲めに家庭の爲めに貢献しないといふ狀態を露はしつゝあるのは如何にも悲じむべき事である。

二

尤も我が國の内地では、日本人は服装道徳に鍛錬せられ、英雄崇拜は官吏崇拜の因襲を特徴とするが故に、個人性の發揮が無いのである。然るに同胞多數の日々行動する處を見る、それが餘りにも個人的であり、孤立的であつて、自己を益せん爲めに家庭の爲めに貢献しないといふ狀態を露はしつゝあるのは如何にも悲じむべき事である。

三

何千年さいふ長い間、個人経済を知らなかつた日本民族は、徳川の鎖港機械のめぐら醒め、歐米の個人主義を交りな結ぶや、彼等の文制度を採り容れる共に個人主義を吸收し、今は、其の反動が燃へ上つてゐるに反し、在伯の同胞は個人主義の分家たるの公序良俗が確立しないなら、結局は個人性から来る利益、本位は漠然と得ないのである。

四

去月二十五、六の兩日總領事館の下に、聖市に協作と金融に関する懇談會があつたが、其の会合に於ても主催側が在留民の落付に對し、研究をして見やうとする者へが缺けてゐながら、それ等に就ての意見交換は極めて少なく、骨肉相親み、隣人相助けるの公序良俗が確立しないなら、結局は個人性から来る利益、本位は漠然と得ないのである。

五

最近ペイア州統一黨では黨の強化運動を起し、各黨員が最少量一名の新黨員を説教加入せしめる事に決し、比較的當局の目の届かない奥地方面に於て同黨主張宣傳につき、近々共産的革命運動が起きるからその時赤化主義者に妻子財産等を略奪され、金銭は如何いふ授配が必要がある若し入黨しない者は本連絡後銃殺に處する等を殆ど恐喝的言辭を以て良民を脅かすた點で終始したのは何んとなく足りぬ心地がしたのだ。

國策具現豫算の膨大に 増稅と公債發行必至

約五億圓をこれに期待

ソ聯逆れら わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

ソ聯逆れら
わが抗議に

わが抗議に

